

第2 阪奈道路の遮音壁設置にむけ前進

沿道住民の要請行動に同席 清水議員ら



「第2 阪奈道路に遮音壁の設置を求める居住者の会」がNEXCO 西日本の大阪高速道路事務所への要請が行われ、清水ただし衆院議員が立ち会いました。

第2 阪奈道路は大阪府や奈良県の会社による道路でしたが、約2年前にNEXCO 西日本に移管されました。公社時代にも住民の要望、運動で遮音壁が作られてきましたが、新たに住宅開発された当該箇所のみ遮音壁がありません。

昨年来、住民が声をあげ、奈良市が騒音調査を実施。最大値では基準を超える騒音があったものの、法令が基準としている平均値は超えませんでした。住民からの要請に対してNEXCO 西日本は「法令に基づく自治体からの指導や自治会からの要望には応えるが、個々の住民の訴えは聞かない」など、事実上の門前払いの対応を続けてきました。この間、清水ただし衆院議員事務所から国交省を通して照会したところ、NEXCO 西日本は対応の非を認め、大阪高速道路事務所の副所長が責任をもって対応するとの回答があり、今回の要請行動が実現したものです。

要請行動には、山村幸穂奈良県議、白川健太郎奈良市議らも参加しました。

「前向きに検討したい」(所長)との答弁を引き出す

NEXCO 西日本からは、須山康博所長、石黒政幸副所長、岡浩一統括課長が対応。遮音壁を設置することなどを求めた住民からの要望に対し、所長からは冒頭、住民のみなさんの話をしっかりと聞きたい、要望について真摯に受け止めたいと表明。所長自ら現地を視察したことも明かしました。

当事者が準備した丁寧な資料に基づく訴えや、同じ一続きの道路で当該部分だけ遮音壁が切れているのは合理性、公平性を欠くとの清水議員の指摘を、NEXCO 西日本側は否定することはできず、所長も「奈良市から騒音測定データも提供してもらい、前向きに検討していきたい」と述べました。

地域住民に今回の要請行動についてお知らせし、住民の運動もさらに広げていくことや、奈良県、奈良市にもそれぞれ議員からも働きかけることにしています。

香芝市で空白克服 2 議席回復 議案提案権を獲得

28 日投開票の奈良県香芝市議選（定数 16、立候補 19 人）で中井政友、青木恒子両候補が当選、前回共倒れによる議席空白を克服し議案提案権を獲得しました。投票率が下がるもと前回比で得票数・率ともに伸ばしました。

告示日前日の近畿オンライン演説会を、事務所やたまり場、自宅などで 60 人近くの党员や後援会員と一緒に視聴し、政治的確信を強めて選挙にのぞみました。井上良子県選対部長は、中井選対局長論文を力に 1 カ月で 1000 か所の宣伝をやり抜いたことや新入党员の奮闘が力になったと話しています。

清水ただし衆院議員が告示日に、宮本たけし前衆院議員が 24 日に支援に入りました。

21 近畿ブロック事務所ニュース

TEL06 (6975) 9111 Fax06 (6975) 9115

【府県・地区・地方議員御中、部内資料】

No. 19 (2021. 3. 30)